

科目名 Subject	役者に学ぶ感情表現とクリエイターに学ぶ動画制作 Feeling expression & Making movies			教員名	藤井咲有里・岡田優里奈・秋山広光	
開講年次	2	開講時期	後期	単位	1単位	
必修／選択	選択	授業形態	演習	時間	30時間	
実践的教育	○					
主な学習効果	知識・技能	主体的行動力	課題解決能力	多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力	日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力	美しく生きる力を実践できる能力
		◎	○	◎	○	
科目の概要	本学の学生が将来活躍するであろうビジネスの世界、美容の世界、そしてこれから発展していく様々な世界において必要な情報発信を対面、動画を通して、その時々で最良な行動をとることができるように、この授業を通して【自己表現能力の向上】と【動画による情報発信力】を培うことに重きをおきます。 【自己表現能力の向上】演劇のトレーニング手法を用い、抑制されている感情、身体を解放させることで、DP4の自分のアイデンティティを認識し、自分とは異なる価値観や考え方を持つ人々の 社会的・文化的背景を理解・尊重し、世界中の様々な人々と協働する力を身につけます。 【動画による情報発信力】各々のスマートフォンを活用して、動画の撮影技術、音楽、テロップを入れた編集技術を習得する。また、動画をビジネスのツールと考え、どのようなターゲットに到達させるか、視聴者にどのような感情、行動へと誘導できるかを目的に動画制作技術の習得を目指し、動画用のカメラ、パソコンを活用して、ビジネスに活用する動画を制作またはプロデュースできる。動画制作ができることでDP2の社会や自分の状況を把握し、目的（個人または所属した企業、店舗のブランディング力向上）に合った目標（SNSなどでの動画を使った情報発信）を達成するために自ら行動できる技術を身につけます。					
授業方法	原則 対面授業とし、非常事態宣言発出等の緊急事態ではZOOMによるオンライン授業とします。					
授業の目標	（１）表情、声、身体を上手に使って自己表現することができ、接客時に好ましい自分を演出することができる。 （２）自己表現能力とスマートフォンによる動画発信技術を向上させ、セルフブランディングを向上させることができる。 （３）動画をビジネスのツールとして制作できる能力を理解し、述べることができる。					
時間外学習 （予習・復習）	【自己表現能力の向上】各回の授業後に出された課題をレポートにしてまとめ、次回の授業時に提出する。【動画制作】作品課題として動画を制作し、提出する。また各回の講義内容を自宅で復習し、次回の授業に向けた準備とする。予習と復習、及び課題制作に必要な時間数は合計で約15時間である。					
教科書・教材	教科書		教員作成資料			
	教材		なし			
	使用設備・備品		PC、スマートフォン、プロジェクター			
	参考文献		「デジタル映像制作ガイドブック」著者 デジタル映像制作ガイドブックプロジェクト			
評価方法	実技試験 25%、筆記試験 25%、小課題 25%、平常点 25%					
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。					
学生へのフィードバックの方法	定期試験の要点について、掲示にて解説を行います。					
	小課題について個別にコメントを返します。					
履修上の注意	スマートフォンを持っていない学生は個別に対応します。 受講者は必ず映像に出演していただきます。（その映像が無断でSNS、インターネットに公開されることはありません。）					
本科目履修と関連する資格	資格名	特になし				

授業計画			
	授業内容	到達目標	時間外学習・備考
第1回	自己表現① 自分の中にあるアーティスト性を引き出す	自分に対する意識を高め、自信を引き出す。コミュニティを作る。アーティスト性を引き出し、表現できる。	発見した事、印象に残った事、感じた事を言語化・文字化して書き出し、提出する。(60分)
第2回	自己表現② 自己と他者のアイデンティティを理解する	自分の事を自分の言葉で他者に語る。他者の事を自分の言葉で他者に語るができるようになる。	発見した事、印象に残った事、感じた事を言語化・文字化して書き出し、提出する。(60分)
第3回	自己表現③ グループで作品を創作する(1) 作品を創作する。	想像力と身体を使って、小作品をグループで創作、発表できるようになる。	発見した事、印象に残った事、感じた事を言語化・文字化して書き出し、提出する。(60分)
第4回	自己表現④ グループで作品を創作する(2) 作品を発表する。	グループごとに発表し、反応を見てブラッシュアップすることができる。	作品を映像化に向けて表現方法、企画を準備する。(60分)
第5回	動画発信の知識を理解する	発信者として必要な知識(著作権、肖像権など)について理解し、述べるができる。	事前にスマートフォンに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習(40分)
第6回	スマートフォンで動画撮影を行う	スマートフォンにおける動画撮影の基礎を理解し、撮影できる。	事前にスマートフォンに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。(40分)
第7回	スマートフォンで動画編集を行う	スマートフォンで動画編集ができる。(Adobe Premiere Rushを使用)	事前にスマートフォンに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。(40分)
第8回	自己表現×動画① グループで表現方法を企画、撮影する	その場で簡単に動画を撮影、表現で魅せる方法を理解し実践できるようになる。	次回講義使用する素材を作成し、用意する(60分)
第9回	自己表現×動画② グループワークで動画を編集し作品を制作する	実際に撮影した素材を編集できるようになる。	出された課題を次回講義時に提出。(120分)
第10回	SNS動画発信の知識を理解する	YouTube、Instagram、TikTokの特徴を知り、述べるができる。	課題を修正、ブラッシュアップ(60分)
第11回	ビジネス動画とは何かを理解する	動画をターゲットにどのように届け、どうビジネスの成果へと導くのかを理解し、述べるができる。	終了後講義内容を自宅で復習。(15分) 出された課題を次回講義時に提出。(45分)
第12回	撮影に必要な機材と技術を身につける	ビデオカメラ、三脚、マイクの機材解説と使い方を理解し、撮影機材セッティングができる。	終了後講義内容を自宅で復習。(15分) 出された課題を次回講義時に提出。(45分)
第13回	ライティング技術を身につける	ライティングによって印象がどこまで変わるのかを知り、ライティングの基礎知識を学び、基本的なライティングができる。	終了後講義内容を自宅で復習。(15分) 出された課題を次回講義時に提出。(45分)
第14回	編集に必要な機材と基礎技術を身につける	編集ソフトの基本的な使い方を学び、使用することができる。	終了後講義内容を自宅で復習。(15分) 出された課題を次回講義時に提出。(45分)
第15回	編集 応用技術を身につける	テロップ入れ、CG作成、動画の構成の知識を学び、述べるができる。	終了後講義内容を自宅で復習。(15分) 出された課題をレポートにして提出。(45分)